

第21期第16回常任理事会議事録

日時 昭和56年12月21日(月) 16.00~17.40

場所 気象庁第一会議室

出席者 岸保, 小平, 浅井, 荒井, 内田, 河村, 黒木,
竹内, 二宮, 松本, 増田, 村山

報告

- [庶務] 1. 11月13日, 気象大学校長から, 昭和57年度春季大会のシンポジウムのテーマの選定について通知がきた(気象衛星資料の利用—その現状と展望—).
2. 12月7日, 中部支部長から, 昭和56年度日本気象学会秋季大会について出席者の報告があった(学生会員65名, 通常会員309名, 一般31名, 計405名, 懇親会出席者191名).
3. 12月11日, 気象庁長官から, 熱帯気象学に関する地域科学会議の後援について了承の旨回答がきた.

[講演企画]

庶務報告にもあるとおり, 秋季大会は多数の参加者のもとに盛会裡に終了した. どの会場でもオーバーヘッドプロジェクターが使える会場が欲しい. 来年春のシンポジウムの講師は, 未定である.

議題

1. 昭和57年度予算(案)について
全国理事会で要望のあった会費値上げの際に支部交付金もスライド制で値上げする件については, 次期役員へ引き継ぐことが提案され了承された.
2. 選挙管理委員長について
気象庁海務課長 山崎道夫氏が就任を承諾された.

3. Regional Scientific Conference on Tropical meteorology について

岸保理事長から, 12月11日に組織委員会の発足, 経過について報告があった.

早急に実行委員会委員の委嘱をしたい. また「天気」に告示する.

4. 評議員との懇談事項について

(1) 財政問題について

過去5年間の会員の新入会者, 退会者の現況. 気象官署職員が通常会員数の約47%を占めており今後数年間に退職者が漸増の状況下であり, 会員が減ってゆく心配がある. また, 32年からの会費の改訂経過の説明があった.

(2) 100周年記念事業について

岸保理事長が説明した.

5. その他

(1) 山本賞の受賞候補者について

二宮選考委員長から, 推薦委員会の経過と決定について報告があった. 受賞候補者は松田佳久 会員(金星大気の4日循環の力学)で, おって全理事に可否を投票してもらおうこととする.

(2) 学会賞・藤原賞候補者推薦委員会委員について

松本理事から次のとおり提案があり承認された.

学会賞 松本誠一(留任) 田中正之(留任) 朝倉 正(留任) 松野太郎(留任) 樋口敬二(新任)

藤原賞 松本誠一(留任) 吉野正敏(留任) 齋藤直輔(留任) 清水逸郎(留任) 片山 昭(新任)

従来は半数交代となっていたが, 今回はこれにこだわらないことが承認された.

承認事項 中田琢志ほか19名の新入会員を承認.